

# 年間行事案内



## 利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時(ただし入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日または振替休日の場合はその翌平日) 12月29日～1月1日
- 入館料 一般…………… 400円(320円)  
小・中・高校生…………… 100円(80円)  
豊橋市内在住70歳以上…………… 100円(80円)  
※( )内は30名以上の団体料金および前売料金、豊橋市内在住70歳以上の方は団体のみ  
※豊橋市内在住70歳以上の方は身分証明書をご提示ください。  
※ほの国こどもパスポート所有の小中学生は無料  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料(マイロIDが使用できます)
- 交通案内 JR東海道本線二川駅下車、東へ1km  
◎駐車場無料 100台  
◎大型バスは二川宿大駐車場をご利用ください。

**茶席のご案内**

江戸時代の情緒あふれる本陣内(主屋座敷)にて、抹茶をお楽しみください。

- 一服(菓子付)有料
- 毎週土・日曜日および祝日(振替休日を含む) 午前10時30分～午後4時



## 豊橋市二川宿本陣資料館

〒441-3155 豊橋市二川町字中町65番地  
TEL 0532-41-8580 FAX 0532-41-8940  
URL <http://www.futagawa-honjin.jp>



## イベント・講座

- 令和7年
- 4/19(土)▶5/18(日) 江戸から平成の様々な五月人形や兜飾り、金太郎や鯉のぼりを展示します。  
**五月人形展 一端午の節句一**
  - 4/27(日) 招き猫の土人形に絵付けをします。  
**本陣体験講座「土人形絵付け」**
  - 5/10(土)・24(土)・6/7(土)・21(土)・7/5(土) 江戸時代や地域の歴史文化をテーマに講座を開催します。  
**本陣古文書講座(初級コース)**
  - 5/17(土) 江戸時代や地域の歴史文化をテーマに講座を開催します。  
**ほんじん講座**
  - 6/28(土)▶7/8(日) 笹飾りやつし飾りを展示します。7月5日(土)・6日(日)にミニ笹飾り作りを開催します。  
**七夏の節句**
  - 8/23(土)・24(日) 菊の着せ綿やオカヅラ人形、秋をイメージしたつるし飾りや折り紙作品を展示します。  
**夏休み本陣体験「本陣のおばけ屋敷」**
  - 9/6(土)▶9/15(日) 菊の着せ綿やオカヅラ人形、秋をイメージしたつるし飾りや折り紙作品を展示します。  
**菊の節句 一重陽一**
  - 9/20(土) 大名行列を募集し、優秀な作品に授賞します。  
**本陣体験講座「和本を作ろう」**
  - 11/2(日) お姫様(雅姫・琴姫)を一般公募し、吉田城主松平伊豆守の大名行列をモデルに時代風俗絵巻を再現します。  
**二川宿本陣まつり 大名行列**
  - 11/23(日)祝・12/7(日)・21(日)・1/11(日)・25(日) 正月飾りやお正月のつるし飾りを展示します。  
**本陣古文書講座(中級コース)**
  - 12/20(土)▶1/12(日)祝 正月飾りやお正月のつるし飾りを展示します。  
**二川宿本陣のお正月**
- 令和8年
- 1/31(土)▶3/15(日) 江戸から平成までの様々なひな人形や天神、つるし飾りを展示します。  
**二川宿本陣のひなまつり**

本陣句会 最終回(11月30日必着) 二川宿周辺で詠んだ俳句を募集し、優秀な作品に授賞します。



五月人形展



七夏の節句



大名行列



二川宿本陣のひなまつり

◎具体的な内容につきましては、電話でお問い合わせ下さい。企画展・イベント等につきましては、都合により変更・中止する場合があります。ホームページでご確認ください。

# 年間行事予定

- 休館日
- 企画展
- ひなまつり

2025.4 Apr.

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

6 Jun.

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

8 Aug.

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

10 Oct.

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

12 Dec.

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2 Feb.

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

5 May.

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

7 Jul.

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9 Sep.

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

11 Nov.

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2026.1 Jan.

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

3 Mar.

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## 企画展

### 浮世絵コレクション展 旅の難所 一関所・川越・峠— 4/19(土) ▶ 6/8(日)

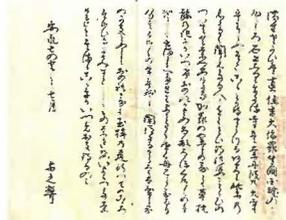
江戸時代の旅人にとって難所であった、一関所・川越・峠を描いた浮世絵を展示します。東海道では「入り鉄砲に女出」といわれる一関所が箱根と新居にあり、旅人の検閲を行っていました。東海道の河川には架橋されているところが少なく、川越は船または徒歩によるもので不便が多くありました。また、急な坂道である峠は悪天候時に旅人を悩ませました。難所を描いた浮世絵により、往時の旅人の気分を味わってください。



双筆五十三次 荒井歌川広重・三代歌川豊国  
安政2年(1855) 当館蔵

### 地域文人の旅 7/19(土) ▶ 9/15(月祝)

江戸時代中期から吉田藩の御用商人を勤めた植田家は、和歌・俳諧・漢詩・能など多様な趣味を持った義方をはじめ、幾人かの文人を輩出しました。かれらは名古屋や三都の文化人たちと師弟関係を結び、旅や文通を通して交わりました。本展では同家に残された旅日記から江戸時代の旅の様子を紹介するとともに、旅先での知識人たちとの交流のあとを辿ります。



丁酉浪華紀行草稿  
植田義方  
安永6年(1777) 個人蔵

### 馬と人のものがたり 10/11(土) ▶ 11/16(日)

馬と人の付き合いは古墳時代頃までさかのぼります。馬に人が乗ったり、荷物を運んだり、ともに農耕するなど、古くから日常にかかわってきました。また一方で、馬を神の乗物と考え、絵馬や木製の神馬が奉納されるなど信仰にも深くかかわっています。今回は、鞍や籠といった馬具をはじめ、浮世絵や考古資料など馬にまつわるものから、馬と人との歴史やつながりを考えます。



黒漆塗三ツ扇紋金唐草蒔絵海有水干鞍  
寛文11年(1671)銘 吉田神社蔵

### 収藏品展 花鳥画 四季の草花と動物たち— 12/6(土) ▶ 1/12(月祝)

季節を彩る花や草木、鳥をはじめとする動物を描いた花鳥画は、山水や人物とともに東洋画を代表する画題です。二川宿本陣馬場家には、宿泊した大名家から贈られた鶴図などが残されました。また、商家駒屋田村家の幕末から明治にかけての当主幹奉は、田原藩の渡辺小華に花鳥画を学んでいます。本展では当館と豊橋市美術館の所蔵品から、地域の画家たちが描いた花鳥画の世界を紹介します。



群雀図屏風(部分)  
恩田石峰  
江戸時代後期 当館蔵

## 常設展

### 二川宿本陣



二川宿本陣は江戸時代後期の文化4年(1807)より明治3年(1870)まで本陣職を勤めた馬場家の遺構です。大名・公家など貴人の宿であった本陣を見学することができます。

### 旅籠屋「清明屋」

庶民の宿であった旅籠屋「清明屋」は、主屋・繋ぎの間・奥座敷で構成された旅籠屋建築の様式を良く残しています。江戸時代の旅の雰囲気が体感できます。



### 資料館常設展示



「東海道」「本陣」「二川宿」の3つのコーナーがあり、江戸時代の旅や街道、大名行列などについて紹介しています。また、浮世絵摺りや双六ゲームができる体験コーナーもあります。